

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和7年11月20日号



毎月第4土曜日に稲村公民館で子ども食堂を開催している「いなむらこどもくらぶ～茶の間～」が、1周年を迎えました。10月25日（土）の開催日には、ハロウィンのお面と1周年をお祝いするケーキ作りを行いました。

お面作りでは、骸骨やかぼちゃなどの絵に好きな色を塗り、シールで装飾してカラフルなお面を作りました。ケーキ作りでは、グループに分かれて子どもたちが中心となり、相談しながらスポンジに飾り付けをしていました。完成したケーキはどれも素敵に仕上がり、最後にみんなでクラッカーを鳴らしてお祝いしました。

お昼はホカホカのかぼちゃシチューを食べました。その美味しさに子どもたちはおかわりをしていました。デザートにはみんなで作ったケーキを食べ、笑顔溢れる楽しい時間を過ごしました。





なすの三線の会～敬老会を盛り上げる～



9月25日（木）サービス付き高齢者向け住宅「ゆいま～る那須」で敬老会が行われ、「なすの三線の会」が演奏し、一緒に歌い踊り、会場を盛り上げました。

はじめに、演奏に合わせて手だけのカチャーシー※で体操を行い、沖縄のポップスや民謡、手遊びのわらべ歌など1時間で11曲を披露しました。合間には、演奏で使っている沖縄の楽器紹介や、三線のクイズをしたり、実際に三線に触れてもらうなど、参加者と交流をしていました。最後は再びカチャーシーを楽しみ、座ったまま手だけで踊る人が多い中、立ち上がって踊りだす方もおり、笑顔溢れる時間を過ごしました。

※沖縄の伝統的な踊り。両手を頭上に挙げて手首を回しながら左右振る動きが特徴。



緑化ボランティアグループ「風花会」



那須野が原公園で活動10年



10月14日（火）那須野が原公園で「風花会」による緑化ボランティア活動が実施され、草取りや摘心※などの作業が行われました。風花会は、公園内の花の丘の一部（花壇）の植栽管理やデザインを行っています。この日は、チェリーセージやアメジストセージ、サンビタリアが盛んに咲いていました。11月は咲き終わった花を抜いて土作りを行い、12月には、冬から春にかけて楽しめるビオラの苗と、チューリップの球根の植え付け作業を行う予定です。来春、きれいなチューリップが咲くのが今から楽しみです。

風花会は、活動開始から今年で10年を迎えました。毎月第3火曜日（冬季は活動休止）の午前中、那須野が原公園で活動しており、一緒に活動する仲間も募集中です。興味のある方はボランティアセンターまでお問い合わせください。



※摘心とは、草花や野菜の茎の先をカットすることによって、脇芽の生長を促すことを言います。



こども食堂で読み聞かせ まほうのとびら×南っこ夢くらぶ



▲とまと・なす・きゅうりさん♪



▲ライオンとねずみ



▲ぐりとぐら（大型絵本）



▲おはようクレヨン



▲ともだちや（大型絵本）



▲まほうのとびらの皆さん

10月19日（日）「まほうのとびら」による読み聞かせが、「南っこ夢くらぶ」で行われました。南っこ夢くらぶは、毎月1回南公民館で開催されているこどもの居場所（こども食堂）で、主に学習支援や体験活動、昼食の提供などを行っています。昨年に続き2回目の活動となったこの日は、絵本3冊とパネルシアター2作を用意し、絵本の読み聞かせの他、迫力ある大型絵本や音楽に合わせたパネルシアターを披露しました。活動後は皆さんと一緒に手作りのカレーを食べました。

最後に代表の児童からお礼の言葉があり、南っこ夢くらぶ代表の茂田井さんからは、こども達やスタッフの皆さんからのお礼の手紙が渡されました。まほうのとびら代表の新井さんは「美味しいカレーを皆さんと食べることができて幸せです」と挨拶し、手紙には心に残った絵本や場面、感想などが書かれており「素晴らしい内容の手紙をいただき感激しました」と喜ばれていました。

まほうのとびらは、毎月第2・4土曜日の午後2時から2時30分まで西那須野図書館で読み聞かせを行っています。会員も募集中です。



東原秋祭り in サ高住あじさい



10月19日（日）サービス付き高齢者向け住宅あじさいで「東原秋祭り in サ高住あじさい」が開催されました。ボランティアセンターからは、個人ボランティアが駐車場係として、ファミリーブラスバンドマムソウルがステージイベントで参加しました。

駐車場係のボランティアでは、連携を図り、安全かつスムーズに来場者を誘導していました。マムソウルのステージでは、「マツケンサンバ」で会場を盛り上げ、「美空ひばりメドレー」など懐かしい曲に参加者は聞き入っていました。最後には、アンコールで「宇宙戦艦ヤマト」を演奏し、賑やかな秋祭りとなりました。



那須のスター☆歌まねショー



那須山千春×南郷屋生きがいサロン



10月24日(金) 那須のスター「那須山千春」の歌まねショーが、「南郷屋生きがいサロン」で開催されました。「この日を楽しみにしていた」と話す方もおり、歌まねショーが始まるのを心待ちにしている様子が見られました。1曲目に松山千春の歌まねで「大空と大地の中で」を披露すると、歌い出しから一瞬で観客を引き付け、皆さんすっかり歌声に魅了されていました。沢田研二や谷村新司、玉置浩二の歌まねも披露し、「松山千春が竹内まりやを歌ったら…」などバリエーション豊かな内容で楽しませてくれました。この日は、南郷屋のスター3名も歌を披露して会場を盛り上げ、那須山千春さんからアドバイスをしていただくなど、思い出に残る時間となりました。最後はアンコールに控え、松山千春の「恋」を熱唱し、歌まねショーのフィナーレを飾りました。



第35回「全国花のまちづくりコンクール」入選



プリンセスローズクラブ



那須塩原駅西口ロータリー花壇のバラの植栽管理を行っている「プリンセスローズクラブ」が、この度「第35回全国花のまちづくりコンクール」団体部門で入選しました。代表の清水貴久子さんは、個人部門での入選も果たされました。この団体は、「美しい駅前にしたい」、「皇族の皆様をお迎えする駅を少しでもバラなどの美しい花で彩りたい」という想いで活動しています。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



▲プリンセスローズクラブの皆さん





二胡ハーモニー 金の星

高齢者施設で二胡コンサート♪



10月22日(水)だいな紫塚ケアホームで「二胡ハーモニー 金の星」のコンサートが開かれました。代表の名田さんは、自身の親御さんが施設にお世話になった恩返しをしたいという想いから活動を始め、県北地区の施設等を訪問し活動を続けています。



この日は、皆さんが知っている唱歌を中心としたプログラムを用意し、演奏が始まると曲に合わせて元気に歌ったり、手拍子する姿が見られました。演奏の合間には曲の説明や二胡の楽器に触れる時間などを取り入れ、交流を図りました。終盤は揃いの法被に着替え、「8時だよ！全員集合」の曲を集めたドリフメドレーを披露しました。名田さんが「8時だよ！」と掛け声をかけると、「全員集合！」と皆さん元気に右手の拳を振り上げ、ノリの良いドリフの曲を楽しまれました。最後は、「夕焼け小焼け」でコンサートを締めくくり、普段耳にする機会の少ない二胡の音色に癒された1時間となりました。

※二胡は、中国の伝統的な擦弦楽器の一種で、2本の弦の間に挟んだ弓で弾きます。



黒磯地区シルバークラブ連合会



高校生ボランティアグループとんぼの会へ感謝状贈呈



10月26日(日)ボランティアセンターにて、「黒磯地区シルバークラブ連合会」緑川会長より那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」へ感謝状が贈呈されました。この感謝状は、黒磯地区シルバースポーツ大会において、若い力と素晴らしい笑顔を会場へ与え大会の成功に多大なる貢献をしたとして送られました。今年度のシルバースポーツ大会には、とんぼの会から14名が参加し、運営補助を行いました。来年度の協力を約束し、和やかな雰囲気での贈呈式となりました。



▲大会を盛り上げるとんぼの会



▲とんぼの会と緑川会長(左)・小泉副会長(右)

福祉体験学習 in 高林小学校

～体験を通して福祉について考える～



9月17日（水）、音訳ボランティアとして活動している「のびる会」の皆さんが講師となり、高林小学校の4年生がアイマスク体験を行いました。最初に、教室で体験の内容とサポートの方法を学びました。その後、2人1組になって廊下や階段の上り下り体験し、目の見えない世界を体験しました。サポートする側になって声かけの大切さに気づき、視覚障がい者への理解を深めるきっかけになったと思います。



9月22日（月）、「サポートみらい」の皆さんが講師となり、車いす体験・高齢者疑似体験を行いました。車いす体験では、体育館の入り口にある段差とスロープを使用したコースを、グループに分かれて体験しました。高齢者疑似体験では、重りと動きが制限される装具を身に付け、階段の上り下りや新聞紙めくり、豆掴みを体験しました。いつも簡単にできている事も時間がかかってしまい、もどかしい気持ちになっている児童もいる様子でした。

これらの体験をとおして、相手への優しい声掛けや、思いやる気持ちが大切であるということの理解に繋がったのではないかと思います。





音訳ボランティア養成講座を 開催しました



▲講座の様子



▲講師の檜山知子氏



▲音訳グループと交流する様子

音訳ボランティア※を知ってもらうこと、活動を始めるきっかけ作りを目的として、令和7年度音訳ボランティア養成講座を健康長寿センターで開催しました。

檜山知子氏を講師に招き、第1回目は音訳とはどのようなものか、音訳活動の心構えと注意点などを学びました。第2回目からは聞き手を意識した発声など、声のウォーミングアップを行いました。第3回目はわかりやすく伝える技術を学び、第4回目は著者の意図を的確につかんで読む練習をしました。最後に、那須塩原市内で活動している音訳グループ代表から活動紹介を行い、受講者とボランティアとの交流の場を持つことができました。

初回は緊張で表情が硬かった受講者たちも、回が進むにつれて笑顔が見られるようになり、和やかな雰囲気で行うことができました。受講者からは「文章をただ読むのではなく、漢字の読みなどをきちんと調べる必要があることを知った」「音訳を学びながら、視覚障がい者のために何かできることはあるか、考えるきっかけになった」との声が聞かれました。全4回の講座をとおして、声で情報を届けることの大切さや、音訳の基本的な知識、音訳ボランティアの重要性を学ぶことができたのではないかと思います。

※目の不自由な人のために、広報や本などの活字情報を音声にして情報を届けるボランティア。

お知らせ

古民家三二発表会



日 時：12月14日（日）13時00分～15時00分（開場12時30分 開演13時00分～）

場 所：古民家ギャラリー青雲塾（那須塩原市青木1547）

入場料：無料

参加団体：三味線津軽会（津軽三味線）

二胡ハーモニー金の星（二胡）

日本舞踊 舞の会（日本舞踊）

問 合 せ：日本舞踊 舞の会 代表 ^{ふじまその} 藤間苑 090-6314-3724

観て・聴いて・楽しんでください♪



ボランティア活動実績

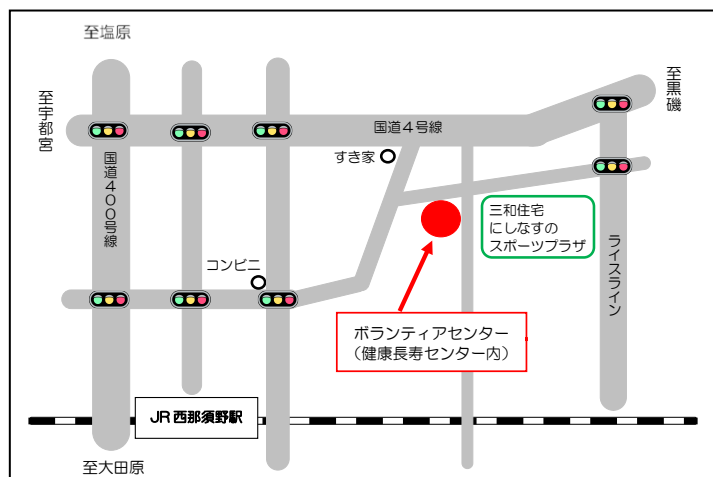
9月	イベント他	20件	112人	10月	イベント他	15件	87人
	傾聴	23件	31人		傾聴	21件	29人
	福祉体験	4件	14人		福祉体験	4件	15人
	合計	47件	157人		合計	40件	131人

ボランティアセンター登録数（10月31日現在）

団体	個人
106団体（非公開含む）	90人



【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧

（令和6年11月1日～令和7年10月31日）

（敬称略）

- ・国際医療福祉大学病院
- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- ・株式会社 Shikano

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、
那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

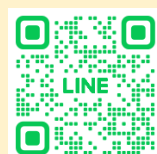
〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163
（健康長寿センター内）

TEL 0287-47-6700/FAX 0287-47-6690

E メールアドレス v.center@ns-shakyou.jp



▲ボランティア
センター情報誌



▲ボランティア
センター公式 LINE



▲那須塩原市社協
フェイスブック

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報をお寄せください。

